

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定3

千葉県立生浜高等学校 三部制の定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

三部制の定時制の特色を理解し、学校生活に対し意欲的に取り組もうとする強い意志があり、次のア～ウの要件の全てに該当する生徒。

- ア 継続的に学習に取り組み、自分の進路実現のために努力する姿勢があること。
- イ 目標を持ち、時間を有効に活用して高校生活をより良く創造する意欲があること。
- ウ 自らを律して、学校生活や社会のルール、マナーを理解し遵守する態度があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：5分程度
(4) 自己表現	次のア、イのいずれかを出願時に志願者が選択 ア 文章による自己表現 実施形態：検査室で一斉に実施 検査時間：50分 字数：400～600字 イ 実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択 野球（男）・陸上競技（男女）・バドミントン（男女）・ サッカー（男）・卓球（男女）・ソフトボール（女）・ 剣道（男女）・バレーボール（女）・テニス（男女）・ アーチェリー（男女） 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は複数人数で実施） 検査時間：20分程度
(5) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔1100点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（志願者が出願時に申告した3教科は、100点満点の得点を3倍してそれぞれ300点満点、他の2教科は、それぞれ100点満点）を合計した1100点満点で評価する。

(2) 調査書

アの数値に、イ及びウについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3年間皆勤である場合は加点する。
ウ 行動の記録	○の数が5つ以上の場合は加点する。 ○の数が0又は1つの場合は、審議の対象とする。
エ 総合所見	記載内容について問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

(3) 面接〔100点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価し、2名の評価者の評価の組合せ（aa～dd）ごとに得点化する。dを含む評価の組み合わせが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容に対し、誠実に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等の身だしなみが整えられており、基本的な礼儀作法が身に付いている。

(4) 自己表現〔200点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価し、2名の評価者の評価の組合せ（aa～dd）ごとに得点化する。dを含む評価の組み合わせが1つでもある場合は、審議の対象とする。

ア 文章による自己表現（日本語による自己アピール）

評価項目	評価基準
(ア) 字数・意欲	指定された字数に従って文章表現を行い、意欲に満ちた文章を書くことができる。
(イ) テーマの理解	テーマについての確に理解・考察した上で、自分の考えと結び付けて文章表現することができる。
(ウ) 表現の内容	文章表現の内容が整理されており、まとまっている。 文章表現が具体的で説得力がある。
(エ) 表現の技能	文章表現における基礎的スキルを身に付けている。 表現力豊かに分かりやすい文章を書くことができる。

イ 実技による自己表現（部活動実技）

評価項目	評価基準
(ア) 表現への意欲	当該種目における表現に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(イ) 表現の態度	当該種目における表現に模範的態度で真面目に取り組んでいる。
(ウ) 基礎的スキル	当該種目における基礎的スキルを身に付けている。
(エ) 専門的スキル	当該種目における専門的スキルを身に付けている。

(5) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願の理由	入学の意志について明確に説明されている。 記載内容については、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	記載内容については、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接・自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

< 総得点の満点の内訳 >

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点		総得点
	評定（算式1）	加点	面接	自己表現	
1100点	(135 + α - m) 点	50点	100点	200点	(1585 + α - m) 点

（算式1） α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあっては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合は、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。